※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（学）健康

教科	（学）健康	科目	基礎からの看護	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「基礎からの看護」は総合学科ならではの特色ある科目です。看護に関する知識を幅広く修得し、看護に対する興味・関心を高めましょう。
・「基礎からの看護」では、１つのテーマに対してお互いに意見を述べたり、グループで議論したり、考えたことをレポートにまとめ発表するといったプロジェクト型の学習を行います。
・様々な看護実習、体験を行います。積極的に取り組んでください。
・看護に関する内容について興味のある分野を調べてまとめる課題を定期的に提出してもらいます。根気強く取り組んでください。
・授業中のプリントの記入においては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。枠外にあるメモ欄に授業で取り扱った内容について自ら考えたことや気になった点を記入してください。

2　学習の到達目標

看護の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，看護の基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）看護について体系的・系統的に理解するとともに，関連する基礎的な技術を身に付けるようにする。
（2）看護に関する基礎的な課題を発見し，看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（3）基礎看護について，よりよい看護の実践を目指して自ら学び，日常生活の援助及び診療に伴う援助における看護の課題解決に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	看護の各分野に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、看護の意義や役割を理解している。	看護業務に関する諸問題についての考察を深め、基礎的・基本的な知識・技能を活用して適切に判断し、問題解決に向けて創意工夫のある考えを表現している。	看護に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組むとともに、他者とも協働できる実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	看護の意義	看護職とは ・看護の意味 ・看護の目的 ・看護の歴史	a:看護の役割と機能に関する基本的な知識を理解している。 b:看護の職業倫理に関する学習を通して、生命に対する畏敬の念に根ざした人間観、看護観を育み、現代の看護に関する諸問題を主体的に解決する力を身に付けている。 c:看護の起源と変遷について学習し看護の意義をグループで討議する中で、現代の看護についての認識を深め、看護の向上に協働的に取り組む態度を身に付けている。	レポート	レポート	観察
	看護活動の分野	看護職の活動 ・看護師の講話 ・映像コンテンツを活用した職業研究	a:職業研究から保健・医療・福祉における看護の役割及び看護職の専門性について理解し、看護職に対する考察を深めている。 b:職業研究を通して、看護に関する基礎的な課題を発見し、問題点を整理している。 c:職業人講話を通して、看護問題はチームによる連携・協働が不可欠であることを実感し、よりよい看護に向けて協働的に取り組んでいる。	定期考査	レポート	レポート
2学期	日常生活	日常生活の援助 ・日常生活の理解 ・食事と栄養 ・休息と睡眠	a:日常生活の援助に関連する基礎的な技術を身に付けている。 b:日常生活が健康や成長・発達に大きな関わりをもつことを理解し、日常生活の援助に関する課題について倫理観を踏まえ解決する力を身に付けている。 c:日常生活の援助について関心をもち、人々が自立した生活を送れるよう主体的かつ協働的に取り組む力を身に付けている。	レポート	レポート	観察

※令和４年度以降入学生用

	診療と看護	各種計測を理解し実践する ・身体の計測 ・各種検査、与薬 ・救急処置 ・家庭での応急処置	a:診療に伴う苦痛や不安を軽減し、診療が正確かつ円滑に行われるための看護職の役割について理解するとともに、関連する技能を身に付けている。 b:診察の過程および救命救急措置における看護職の役割を踏まえ、患者やその家族の心理面に対する配慮について深く考察し、諸問題の解決に向けて創意工夫のある考えが表現できている。 c:診療に伴う援助における看護の課題解決に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	定期考査	レポート	観察
３学期	看護活動の展開	患者理解 ・患者の症状や訴えの理解 ・患者とのコミュニケーション ・地域の医療体制 ・福祉との連携	a:看護の基盤となる対象となる人々との信頼関係や安全確保、健康問題の把握の重要性について理解し、看護の基礎的な知識と技能を身に付けている。 b:患者理解に関して考察を深め、看護の本質に関わる課題を発見し、課題解決に向けて主体的に取り組む力を身に付けている。 c:地域における人々の療養を支える保健医療福祉の多職種間のチームによる連携・協働を理解し、人々の健康の保持増進をめざして主体的かつ協働的に取り組んでいる。	定期考査	レポート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度